

## 第23回 環境法政策学会

*Japan Association for Environmental Law and Policy*

2019年6月9日(日) 上智大学 四谷キャンパス (千代田区紀尾井町7-1)

### プログラム

10:00~12:00 分科会<個別報告> (報告20分、コメント5分、質疑5分)

第一分科会 6号館404教室

第二分科会 6号館408教室

第三分科会 6号館403教室

第四分科会 6号館402教室

第五分科会 6号館401教室

第六分科会 6号館409教室

12:00~13:00 理事会 (2号館203a教室)

13:00~13:30 会員総会 (6号館307教室)

シンポジウム「日本における環境条約の国内実施」 (6号館307教室)

13:30~13:40 <挨拶> 開催校

13:40~15:45 <第1部 報告>

15:45~16:10 休憩

16:10~17:45 <第2部 パネルディスカッション>

18:30 懇親会 (主婦会館プラザエフB2Fクラルテ)

※詳細は添付の懇親会案内をご参照ください

#### [注意事項とお知らせ]

- 1 分科会とシンポジウムの詳細は、裏面を参照ください。
- 2 開催校への質問等は、下記宛にお願いします。

上智大学開催校事務局 筑紫圭一 \*メール: [jaelp2019-co@sophia.ac.jp](mailto:jaelp2019-co@sophia.ac.jp)

- 3 会員外の方とご参加される場合には、ご参加される会員外の方のお名前とご所属を事務局までご連絡ください。事務局: [kankyo@shojihomu.or.jp](mailto:kankyo@shojihomu.or.jp)
- 4 会員外の方は、午後のシンポジウムのみ、資料代1000円でご参加いただけます。

<環境三学会合同シンポジウム>

日時: 2019年7月28日(日) 13:30~17:00

会場: 明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー1031教室

テーマ: プラスチック依存社会からの転換 (仮)

※詳細は検討中のため、今後のメール連絡をご確認ください。

# 環境法政策学会 第23回学術大会プログラム

《参加者・報告内容等一部が変更になる可能性があります》

## 第一分科会 廃棄物・土壌汚染 [6号館404教室 司会者：渡邊知行 (成蹊大学)]

- ①環境汚染の原状回復請求をめぐる民事訴訟の課題—放射性物質の除染をめぐる—  
(報告者：長島光一 (帝京大学) / コメンテーター：渡邊知行 (成蹊大学))
- ②自治体による域外発生産業廃棄物の搬入規制の課題と今後の展望について  
(小清水宏如 (環境政策ネットワーク) / 千葉 実 (岩手県))
- ③土壌汚染地の制度的管理に関する日米比較研究 (高浜伸昭 (市川市・東洋大学大学院) / 黒坂則子 (同志社大学))
- ④食品リサイクルに係る法政策・法施策の提案  
(戸田博之 (神戸大学博士修学・元大阪府) / 柳 憲一郎 (明治大学))

## 第二分科会 気候変動・自然保全 [6号館408教室 司会者：大塚直 (早稲田大学)]

- ①神戸製鋼石炭火力発電所をめぐる民事差止・行政訴訟について  
(池田直樹 (弁護士・関西学院大学) / 大塚直 (早稲田大学))
- ②気候変動の影響に対する地域ガバナンス強化の方向  
(斉藤照夫 (NPO 法人川口市市民環境会議) / 滝口直樹 (環境活動支援工房))
- ③イングランド侵略的外来植物管理法制における「土地所有者責任」とは何か？  
(上河原献二 (滋賀県立大学)・稗田真也 (滋賀県立大学大学院) / 奥 真美 (首都大学東京))
- ④野生動植物の保護策の改善—蝶を事例とした日本の規制の考察  
(難波 健 (大阪大学大学院) / 神山智美 (富山大学))

## 第三分科会 国際環境法・外国法 [6号館403教室 司会者：西村智朗 (立命館大学)]

- ①自主研究会成果報告「(仮) 国際法に横たわる「地下水」と「帯水層」の定義問題  
—国連水路条約と帯水層条文草案を中心に— (鳥谷部 壤 (摂南大学) / 児矢野マリ (北海道大学))
- ②「水と国際法」に関する近年の研究の展開  
(平野実晴 (日本学術振興会・神戸大学) / 西村智朗 (立命館大学))
- ③スウェーデンの議会オンブズマンの環境分野における活動  
(進藤真人 (早稲田大学) / 磯野弥生 (東京経済大学名誉教授))

## 第四分科会 企画セッション「トランプ政権下の気候変動対策とカリフォルニア州の動向」

[6号館402教室 代表者：辻 雄一郎 (明治大学)]

- ①気候変動訴訟における自治体・NGO の役割 (仮) (牛嶋 仁 (中央大学))
- ②カリフォルニア州の no-emission 電源 100%政策の法的課題 (黒川哲志 (早稲田大学))
- ③カリフォルニア州における温暖化対策の実施過程 (久保はるか (甲南大学))
- ④NEPA・ESA の下での気候変動リスクの考慮 (仮) (釘持麻衣 (日本都市センター・上智大学大学院))
- ⑤カリフォルニア州の自動車規制—休眠州際条項を中心に (仮) (辻 雄一郎 (明治大学))

第五分科会 企画セッション「日本の湿地保全にむけて総合的観点による検討」

[6号館401教室 代表者：織 朱實 (上智大学)]

- ①湿地保全と防災機能 (国際法的見地からの問題提起) (鈴木詩衣菜 (上智大学))
- ②湿地保全と流域管理 (工学的見地からの問題提起) (黄 光偉 (上智大学))
- ③台湾・韓国湿地保全法の現状と課題 (比較法的観点からの問題提起) (織 朱實 (上智大学))
- ④北川湿地保全と訴訟 (訴訟法的見地からの問題提起) (小倉孝之 (弁護士))
- ⑤湿地保全とエコツーリズム (SDGs 見地からの問題提起) (鈴木政史 (上智大学))

第六分科会 企画セッション「地球環境ガバナンスとレジームの変動—CITES の発展・変容と日本の国内実施」

[6号館409教室 代表者：遠井朗子 (酪農学園大学)]

コメンテーター：磯崎博司 (岩手大学名誉教授) / 北出智美 (TRAFFIC ジャパンオフィス代表)

- ①地球環境ガバナンスとレジームの変動~CITES の変容と国内実施 (遠井朗子 (酪農学園大学))
- ②海洋生物資源の持続可能な利用と CITES 及び日本の対応 (真田康弘 (早稲田大学))
- ③越境する密猟・違法取引への国際的対応と CITES の国内実施~種の保存法の検討を中心として (田中良弘 (新潟大学))
- ④CITES 実施の「多層的規制モデル」 (村上裕一 (北海道大学))

=====

シンポジウム (6号館307教室)

「日本における環境条約の国内実施」

☆第1部 報告☆ 司会：清水知佳 (駿河台大学)、鳥谷部 壤 (摂南大学)

- 13:40~13:45 趣旨説明 鶴田 順 (明治学院大学)
- 13:45~14:05 環境条約の国内実施：国際法の観点から 高村ゆかり (東京大学)
- 14:05~14:25 環境条約の国内実施：国内法の観点から 島村 健 (神戸大学)
- 14:25~14:45 国内裁判所における環境条約：北見モモンガ裁判を例として  
市川守弘 (弁護士・トマム法律事務所)
- 14:45~15:05 化学物質規制：POPs・水俣条約を中心として増沢陽子 (名古屋大学)
- 15:05~15:25 生物多様性・自然保護：世界遺産条約を中心として 田中俊徳 (東京大学)
- 15:25~15:45 海洋環境保護：MARPOL 条約を中心として 野村摂雄 ((公財) 日本海事センター)
- ◆15:45~16:10 —— 休憩 (質問票回収) ——

☆第2部 パネルディスカッション☆ 司会：児矢野マリ (北海道大学)、鶴田 順 (明治学院大学)

- 16:10~17:45 パネリスト：①高村ゆかり (東京大学) / ②島村 健 (神戸大学) / ③増沢陽子 (名古屋大学)  
④遠井朗子 (酪農学園大学) / ⑤清家 裕 (環境省)